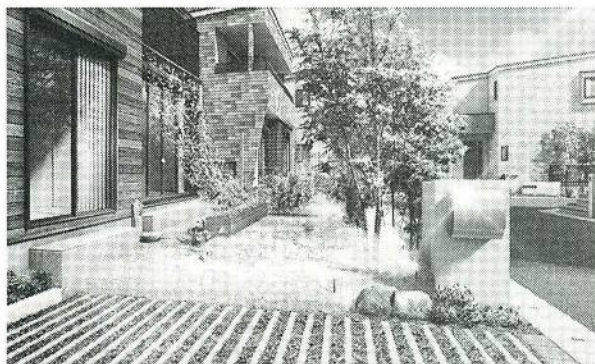


ヒートアイランド対策を実施

ポラスグループ 街づくりで



建設中の「風と緑のまち 白岡」



ポラスグループ中央住宅は埼玉県白岡市で画期的な分譲住宅「風と緑のまち 白岡」を手掛けています。「風と緑のまち 白岡」では、街そのものがクールアイランドと

なるように、パッシブ・ランドデザインシステムを構築しています。これにより街における体感温度マイナス5℃、空間温度マイナス3℃を実現しています。

各住宅に導入の自動ミスト散水システム。また、カースペースは植生+保水ブロック全面敷きに。

パッシブブランドデザインのプロセス
 (1) システムの前提
 ① 立地環境や気象を解析し、周囲の気象データによる風配を把握しています。

② 解析に基づいた区画や配棟の計画
 ① 1台目のカースペースを緑化する
 ② 2台目のカースペースを緑化する
 ③ 2台目のカースペースを植生ブロック(緑化率67%)敷設しています。

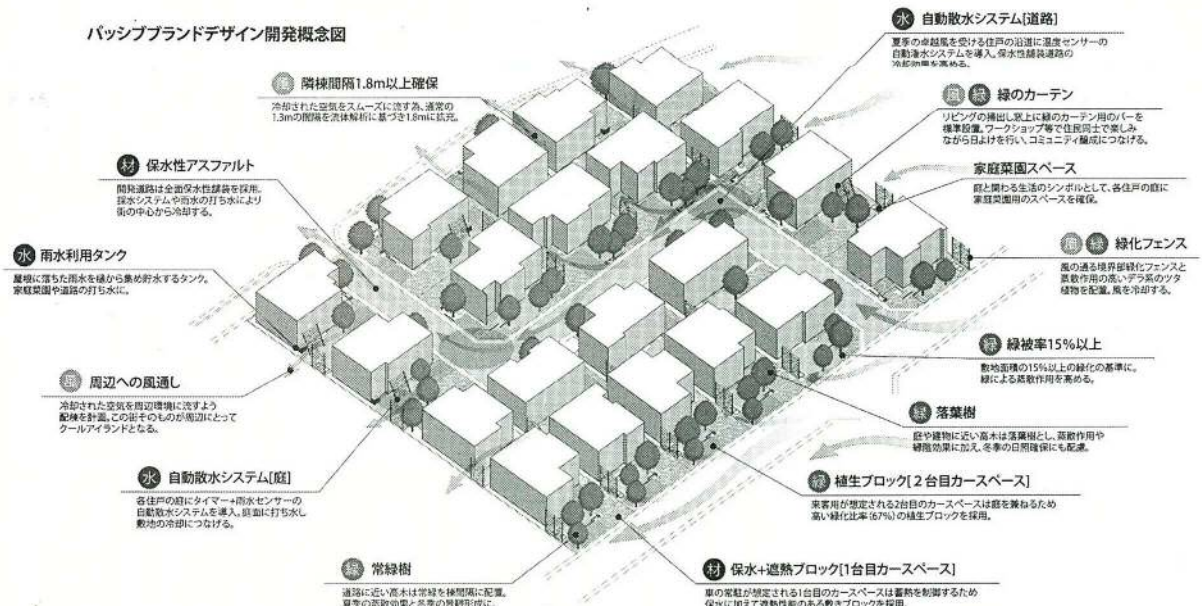
④ 水の利用
 ① 隣棟間隔の最低基準11.8m以上確保し、涼風を街中に行き渡らせます。
 ② 体感温度マイナス5℃、空間温度マイナス3℃を実現します。

また、素材の力を利用した自然冷却循環システム
 ① 道路を保水化する
 ② 風の通り道に緑の壁を創る
 ③ 窓の前に緑のカーテンを創る

④ 緑の利用
 ① 木陰のクールポケットを創る
 ② 風の通り道に緑の壁を創る
 ③ 窓の前に緑のカーテンを創る

⑤ 風の効果
 ① 道路を保水化する
 ② 風の通り道に緑の壁を創る
 ③ 窓の前に緑のカーテンを創る

ト散水スプレー(5カ所)、道路散水は一部住戸。
 ② 雨水の利用
 ③ 緑化フェンス
 ④ 緑化率15%以上
 ⑤ 常緑樹



パッシブブランドデザインのシステムダイアグラム